

下呂市の予算

令和2年度一般会計

224億1,000万円

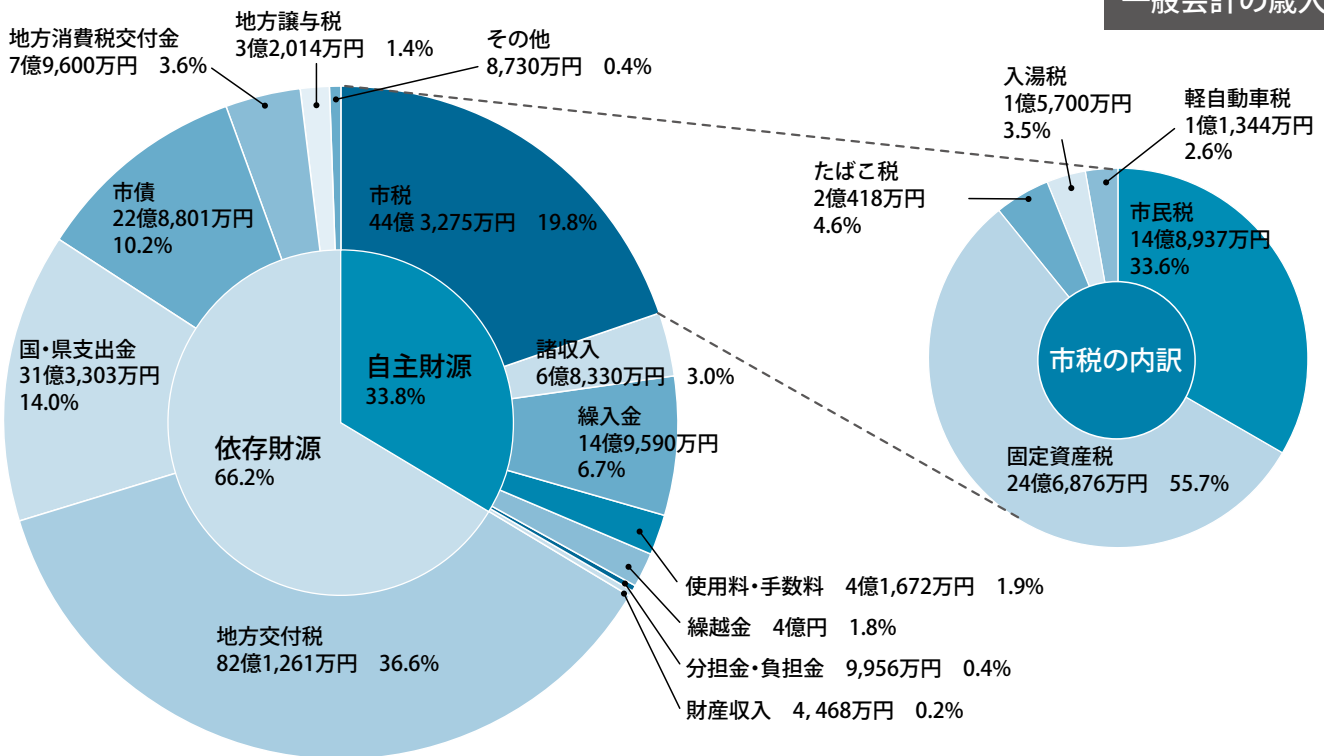
特別会計・公営企業会計を含めた総額

379億2,510万円

予算のポイント

災害復旧事業や庁舎整備事業などが完了した一方で、新最終処分場の建設、幸田2号線の電線地中化工事、(仮称)観光交流センターの整備、萩原小学校の長寿命化改良工事、わかばこども園の大規模改修などの大型建設事業費を計上し、一般会計の予算額は前年度と比較して11億7千万円増加して、過去3番目の予算規模となりました。

一般会計の歳入



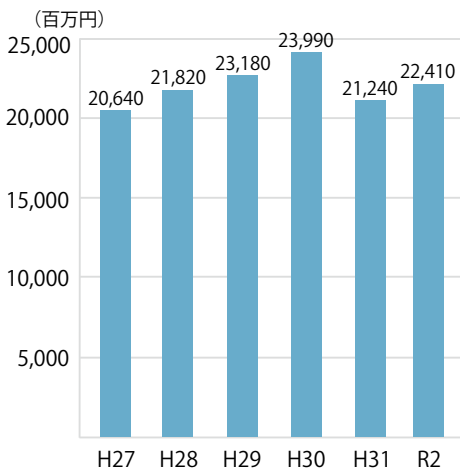
●特別会計・公営企業会計 当初予算

(単位: 万円)

	R2年度	H31年度	増減額	増減率
特別会計				
国民健康保険事業(事業勘定)	356,229	377,560	-21,331	-5.6%
後期高齢者医療	54,746	50,809	3,937	7.7%
介護保険(介護サービス事業勘定)	22,577	23,171	-594	-2.6%
介護保険(保険事業勘定)	350,852	344,777	6,075	1.8%
下水道事業	0	222,296	-222,296	皆減
国民健康保険事業(診療施設勘定)	27,254	27,358	-104	-0.4%
下呂財産区	250	286	-36	-12.6%
学校給食費	15,260	15,876	-616	-3.9%
小計	827,168	1,062,133	-234,965	-22.1%
公営企業会計				
水道事業	176,729	175,933	796	0.5%
下水道事業	346,881	0	346,881	皆増
下呂温泉合掌村事業	28,714	25,779	2,935	11.4%
金山病院事業	172,018	174,017	-1,999	-1.1%
小計	724,342	375,729	348,613	92.8%
合計	1,551,510	1,437,862	113,648	7.9%

※下水道事業は令和2年度から公営企業会計になりました。

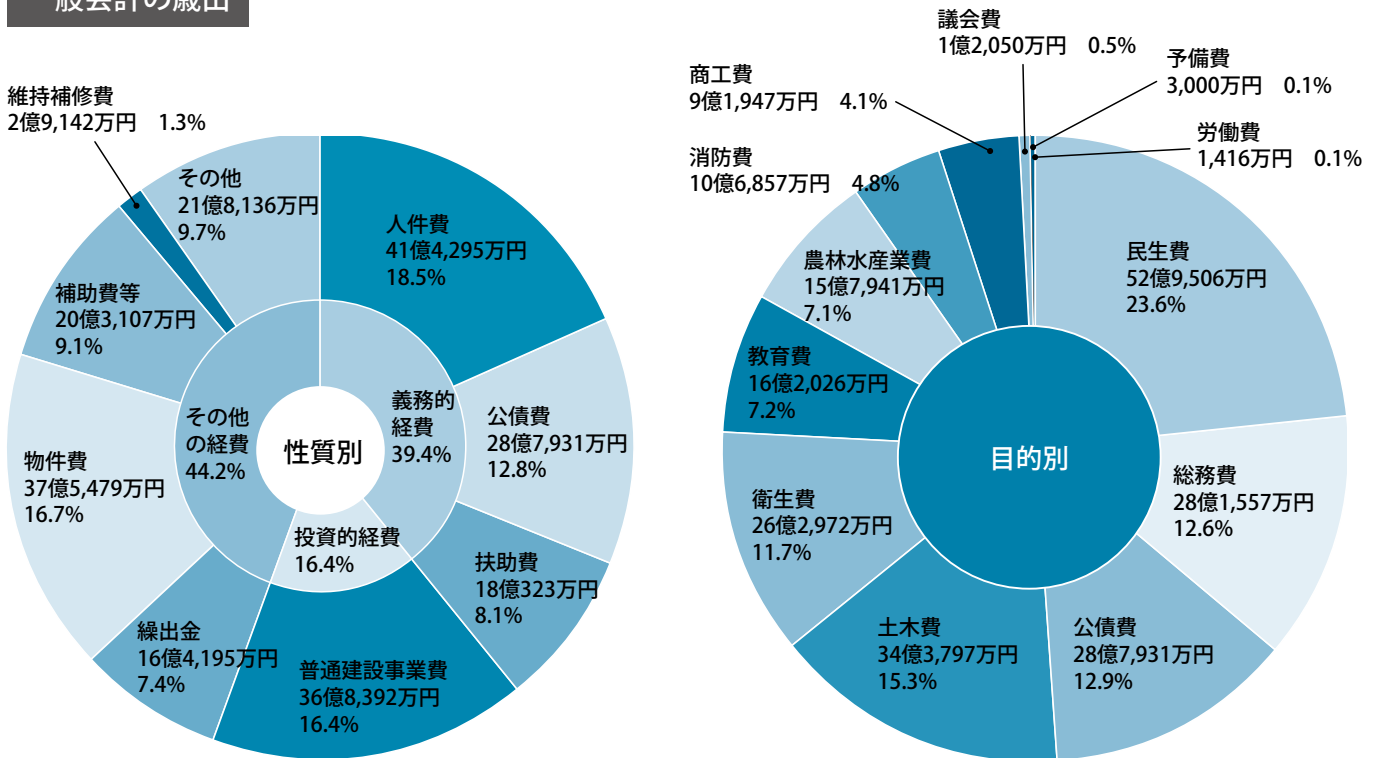
●一般会計当初予算の推移



下呂市の最上位計画である第二次総合計画の積極的な推進と、市民の安心・安全のため、「まちづくりは人づくり」を基本理念に、「若い人や女性が輝き高齢者の笑顔あふれるまち」、「地域間の融和と伝統あるまち」、「交流から生まれる活気あるまち」、「防災力で安心して住めるまち」の4つの基本政策を柱とし、今必要な事業を着実に進めていきます。

歳入では、税制改正による法人住民税の減や地方交付税の増を見込み、不足する財源を市債や基金の取り崩しなどにより補っています。市債については、「過疎対策事業債」「合併特例事業債」などの交付税措置上できるだけ有利なものを選択しています。基金については、「持続可能な行財政運営を図るために不足する財源を補うため」また、「総合計画重点プロジェクトや特色ある事業推進を図るための政策的事業」に計画的に活用するため、令和2年度には財政調整基金を6億円活用することとしております。

一般会計の歳出



市民1人当たりの予算 **703,125円**
(人口は令和2年2月末現在 31,872人)

用語解説

歳入	1年間の全ての収入
自主財源	自前で収入できるお金
依存財源	国や県から交付されたり借り入れたりするお金
繰入金	各種基金を取り崩して繰り入れるお金など
地方交付税	所得税など国が徴収した税金の中から、市町村の財政規模に応じて配分されるお金
市債	公共施設の建設など、市が一度に多額の出費が必要な場合に認められる長期の借入金
国・県支出金	国や県の決めたルールにあった市の事業に対して国や県が交付するお金
地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

歳出	1年間の全ての支出
義務的経費	法令あるいは性質上、支出が義務付けられた経費
投資的経費	道路や建物の建設、用地の購入など市民の財産として将来に残るものに支出されるお金
公債費	借り入れた市債の返済に充てるお金で、元金の返済金とその利息
扶助費	生活保護費や障がい者への援助費など
物件費	委託料や使用料、光熱水費、消耗品費など
繰出金	特別会計へ繰り出すお金
補助費等	各種団体への補助金や交付金、保険料、謝礼金など
維持補修費	施設や道路などの維持補修にかかるお金